

釧路市授業マイスター 「釧路市が目指す授業」実践レポート



令和7年6月30日新谷将司先生（景雲中）



景雲中学校の新谷将司先生は、中学校1年の数学の授業で、目標を「文字を用いた式を活用して棒の本数を求める式を考え、その求め方を説明できる」と設定しました。単元の前半で学習した内容と関連付けて解決できる教材を意図的・計画的に位置付けて、前に学習したことをもとにして考える子供の姿を引き出すように工夫していました。



令和7年7月11日細野歩先生（鳥取西中）

鳥取西中学校の細野歩先生は、中学校3年の社会の授業で、目標を「現在の社会でも差別が残っていることを捉えた上で、男女の平等について、自分の考えを平等権の視点から他者に説明できる」と設定しました。作成時期が異なる大阪府の2つのポスター比較を通して、男女の平等について考えるきっかけをつくるように工夫していました。

事後研後に行われた授業マイスター交流会では、授業の目標達成に向かう授業にするためには、次の手立てを講じることが重要と確認されました。

- ① 新谷将司先生の授業では、集団思考時に文字を用いた式の理解が進むように、導入段階で具体数を用いた式と図とのつながりを共有して、それを意図的に板書に残すといった工夫をすること。
- ② 細野歩先生の授業では、事実認識を踏まえた社会で見られる課題について考察するには、学んだ事実認識が根拠となるような教材を活用すること。



釧路市授業マイスターの授業実践は、左のQRコードからご視聴いただけます。

また、右のQRコードの「釧路市授業交流クラスルーム」では、日常の授業づくりに関わる質問等を随時お寄せいただいております。皆様からの投稿をお待ちしております。

